

平成 27 年度
南アルプス環境調査 結果報告書
Ⅲ iii 景観調査

環境局環境創造課

平成 2 8 年 2 月

目次

| | | |
|-----|----------------|----|
| 1 | 調査の目的 | 1 |
| 2 | 調査概要 | 1 |
| 2-1 | 調査項目及び調査方法 | 1 |
| 2-2 | 調査地点及び時期 | 1 |
| 2-3 | 調査実施者 | 1 |
| 3 | 調査結果 | 3 |
| 3-1 | 眺望点調査(可視領域図作成) | 3 |
| 3-2 | 道路景観調査 | 20 |
| 4 | 考察 | 20 |
| 5 | 評価・課題 | 20 |
| 6 | 今後の調査計画の概要 | 20 |

1 調査の目的

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内で計画されている中央新幹線建設事業について、工事による自然環境への影響が懸念されていることから、工事による自然景観の変化をモニタリング調査するため、施工場所周辺地域の工事着工前の景観の現況を調査した。

2 調査概要

2-1 調査項目及び調査方法

調査項目及び調査方法は、下表のとおりである。

表1 調査項目及び方法

| 調査項目 | 調査手法 | |
|--------|-----------------|---|
| 眺望点調査 | 可視領域図作成 | 地理情報システムソフトウェアを用いて、主な土地改変区域が視界に入る可能性のある地域を算出した。 |
| | 主要眺望点 現地確認調査 | 上記可視領域内の主要眺望点のうち、土地改変区域の良く見える箇所を抽出し、現地の工事着工前の現況写真を撮影した。 |
| 道路景観調査 | 林道 現地確認調査 | 林道東俣線の起点から終点（約 26.8km）において、登山者の歩行の視点で1kmに約10枚程度（合計272地点）の景観写真を撮影した。 |

2-2 調査地点及び時期

調査地点及び時期は、下表のとおりである。また、調査位置を図1に示す。

表2 調査地点及び時期

| 調査項目 | 調査時期 | 調査地点 |
|--------------------|----------------|---|
| 眺望点調査 (可視領域図作成) | — | (事務作業) |
| 眺望点調査 (現地確認調査) | 7月29日 ～8月1日 | 可視領域図作成で選定した主要な眺望点4箇所 |
| 道路景観調査 | 8月4日 ～8月7日 | 林道東俣線の起点（沼平ゲート）から終点（二軒小屋）までの林道沿い（約26.8km） |

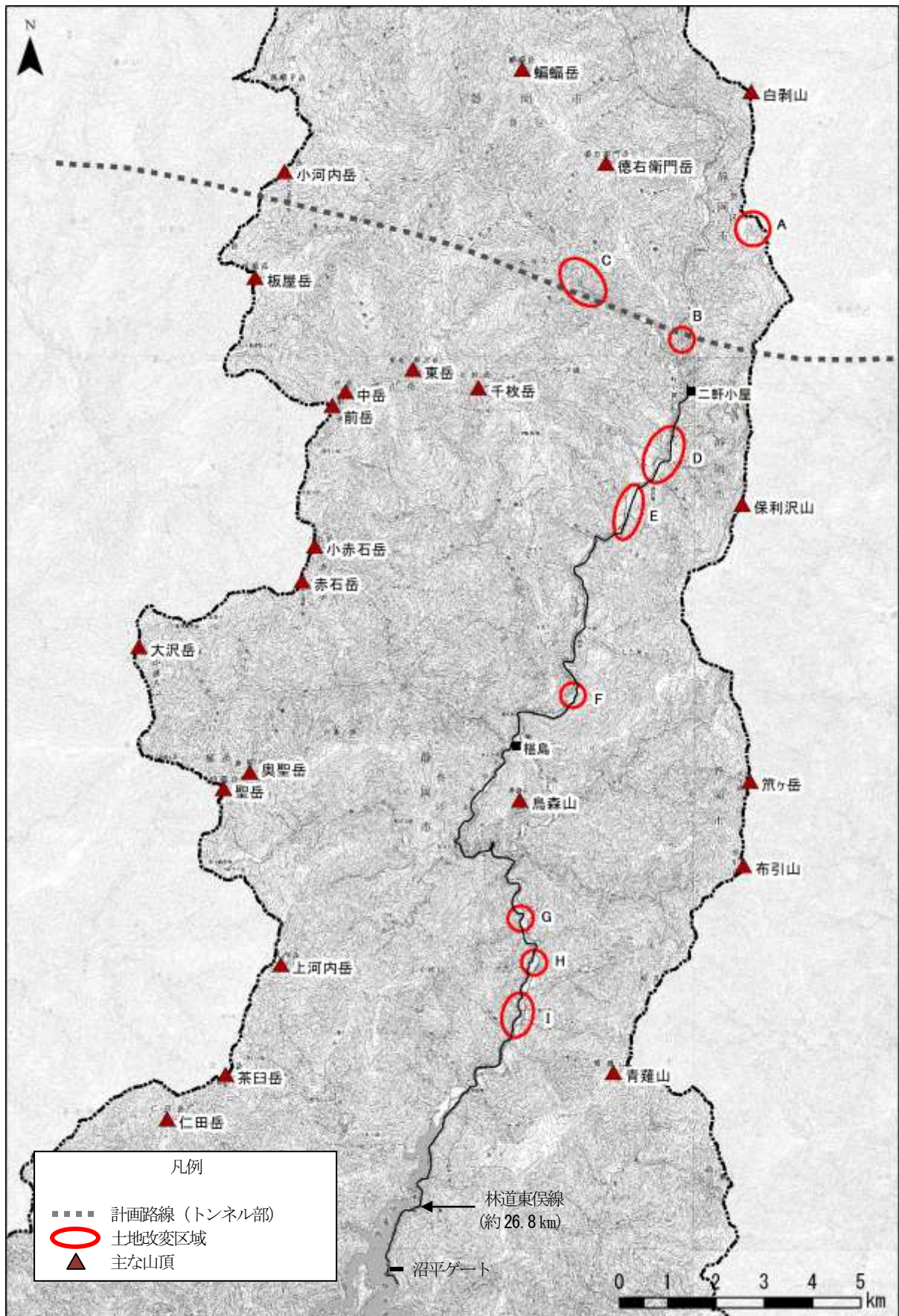
2-3 調査実施者

調査実施者は、次のとおりである。

業務名：平成27年度 環創委第6号 南アルプス景観調査業務

受託者：株式会社 環境アセスメントセンター

住所：静岡市葵区清閑町13番12号



【土地改変区域A~Iの内容】A:発生土置き場・坑口（工事用道路） B:坑口（工事用道路） C:宿舎・非常口（山岳部）・坑口（工事用道路）
D: 宿舎・非常口（山岳部）・工事施工ヤード E~I:発生土置き場

図1 調査位置図

3 調査結果

3-1 眺望点調査（可視領域図作成）

（1）可視領域図の作成

地理情報システムソフトウェアを用いて、主な土地改変区域が視界に入る可能性のある地域を算出した。作成した可視領域図は、図2-1から図2-9に示す。

（2）主要な眺望点の選定

「中央新幹線（東京都・名古屋市）環境影響評価書」のほか、南アルプスに関する資料調査を行い、調査区域内の眺望点（主な山頂、主要な眺望点、眺望景観予測地点）及び眺望点の位置及び利用環境（登山の拠点施設、登山ルート、道路・林道）について整理を行い、上記で作成した可視領域図と重ね合わせた。眺望点の位置及び利用環境のそれぞれの地点・ルートについて、有名度、利用度、土地改変区域の可視領域を総合的に評価し、以下の4地点を現地確認調査地として選定した。現地確認調査地は、図3に示す。

- ①伝付峠及び登山ルート（二軒小屋～伝付峠方面）
- ②登山ルート（蝙蝠岳登山口～徳右衛門岳方面）の蝙蝠岳登山口付近
- ③登山ルート（中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面）の中ノ宿吊橋
- ④林道東俣線（D～Iの6地点）

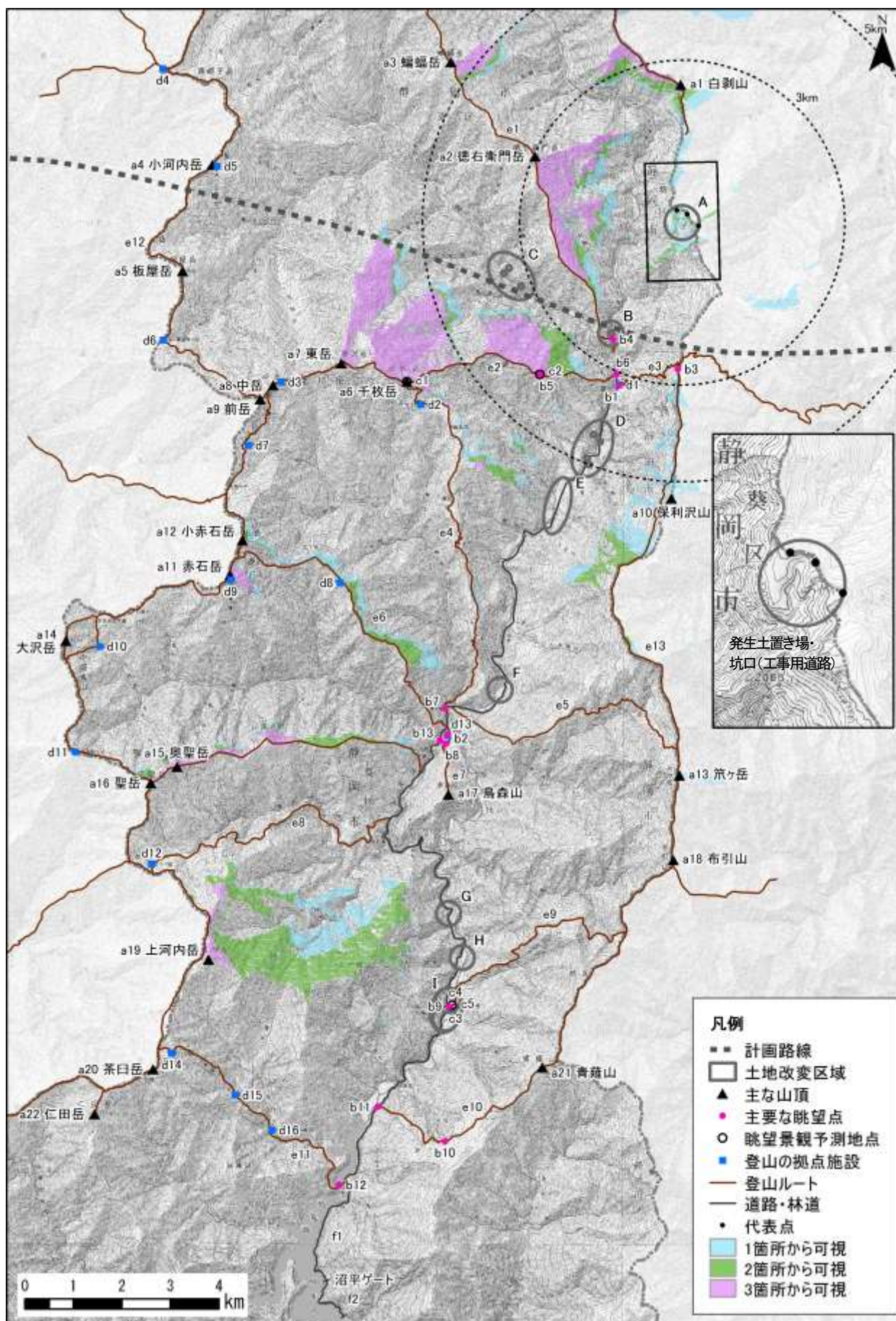


図2-1 土地変更区域Aの可視領域図

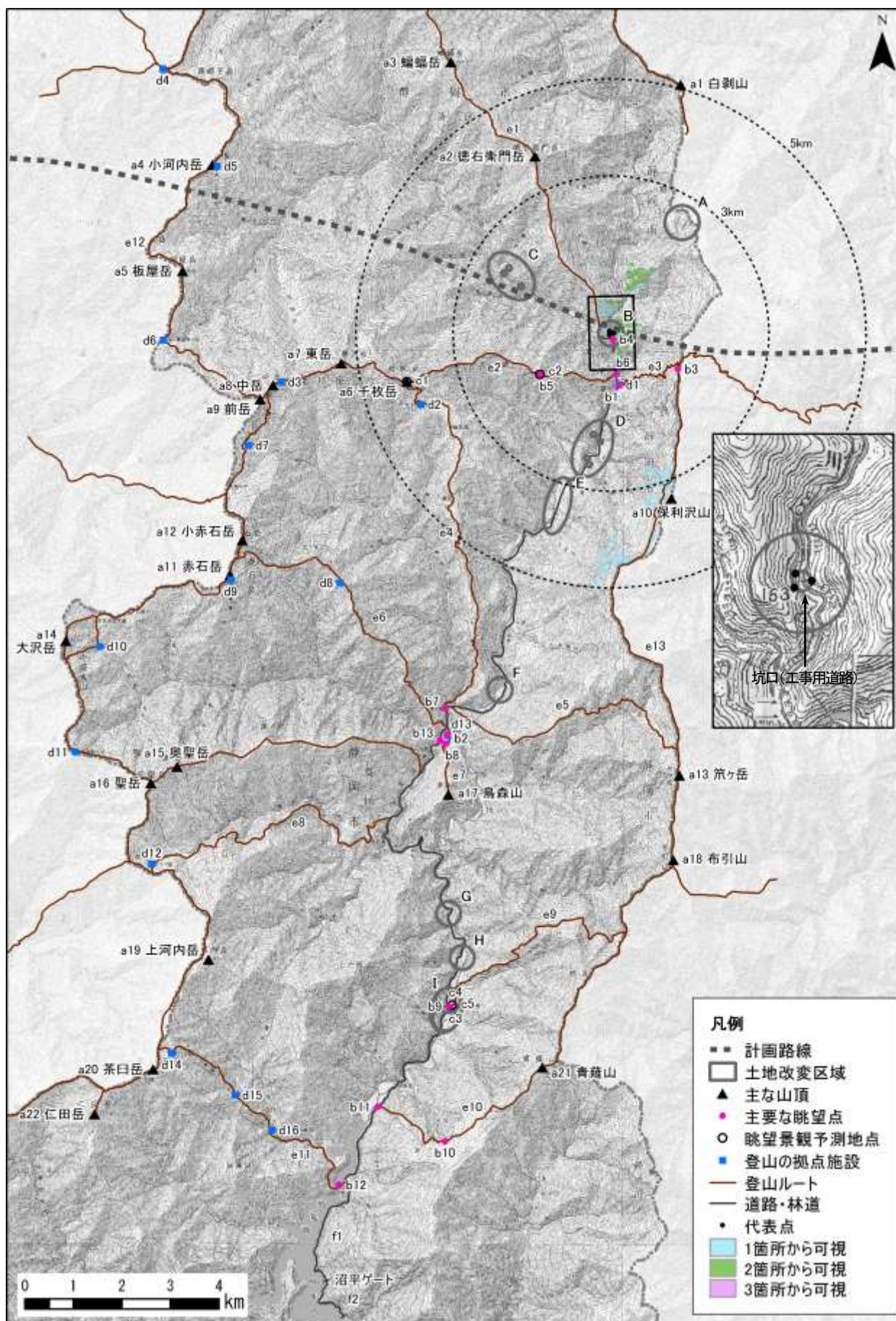


図2-2 土地変更区域Bの可視領域図

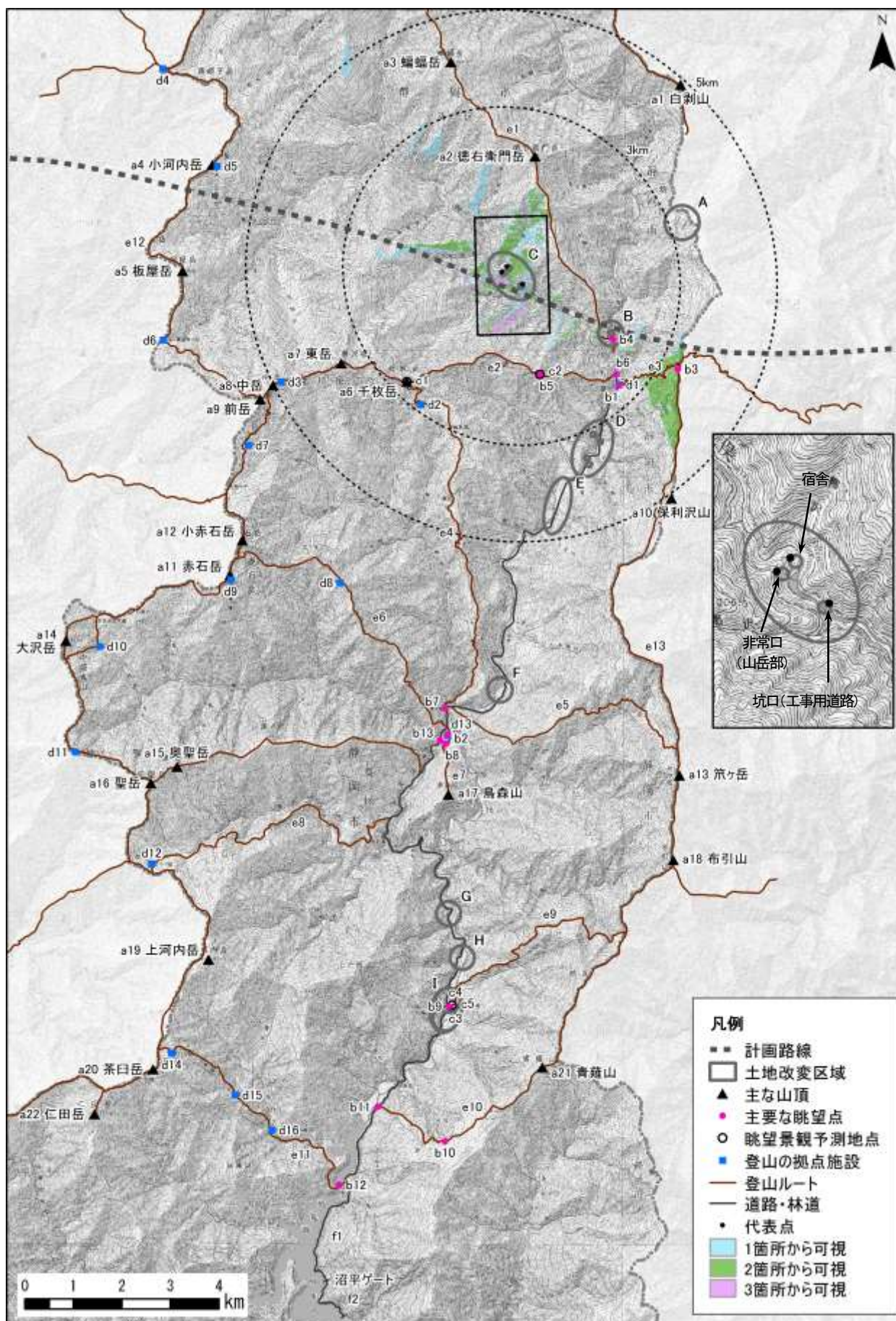


図2-3 土地変更区域Cの可視領域図

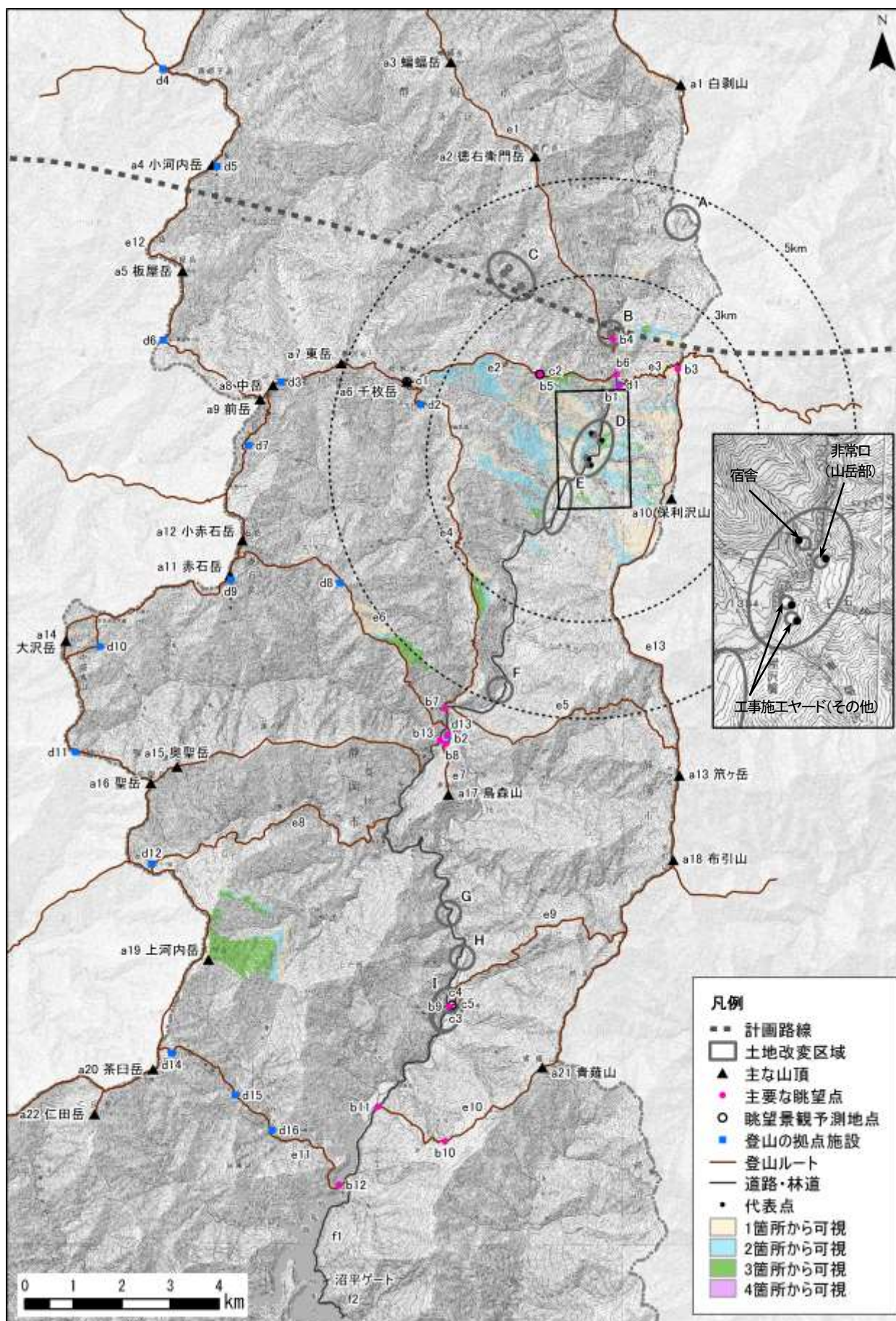


図2-4 土地変更区域Dの可視領域図

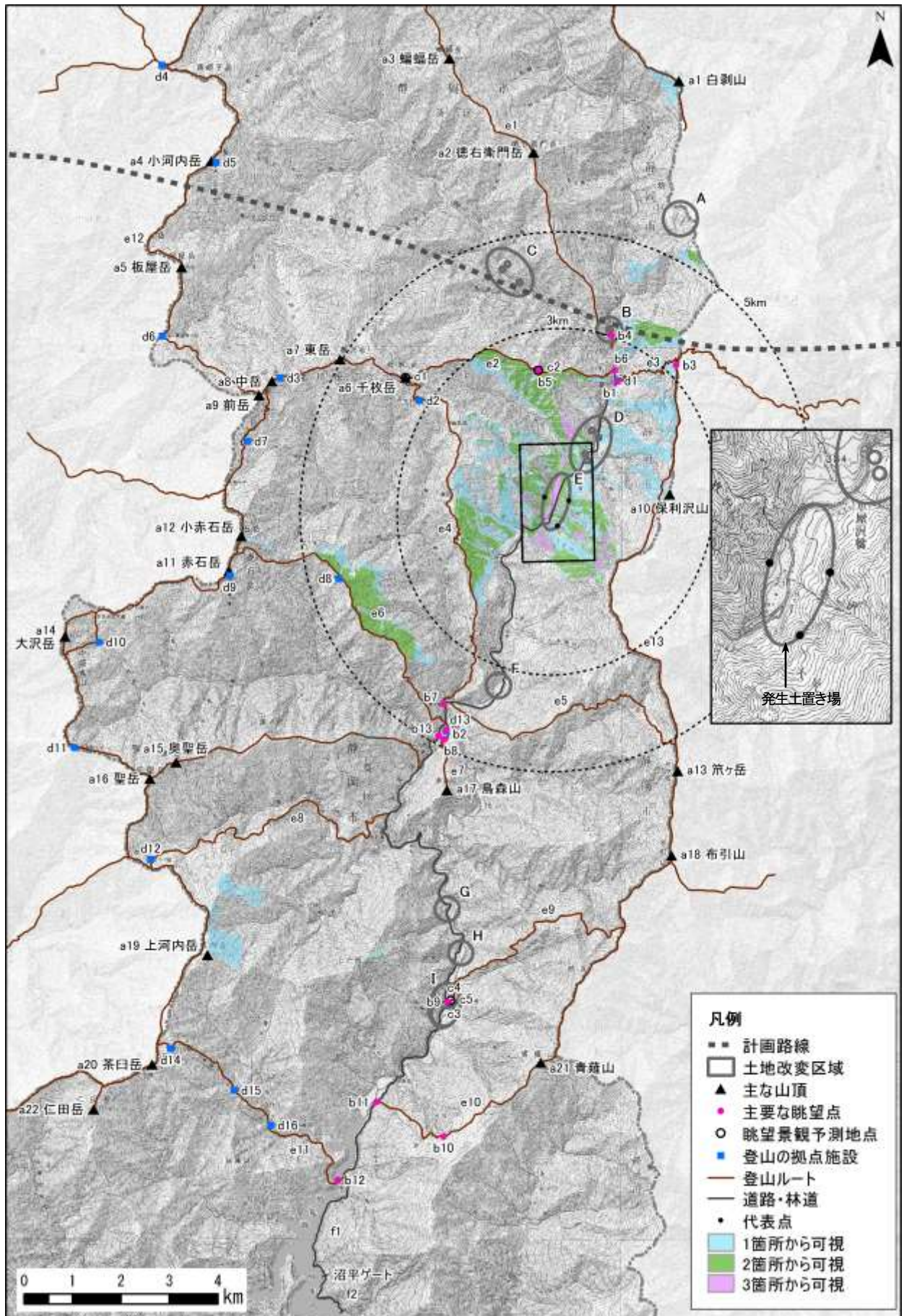


図2-5 土地変更区域Eの可視領域図

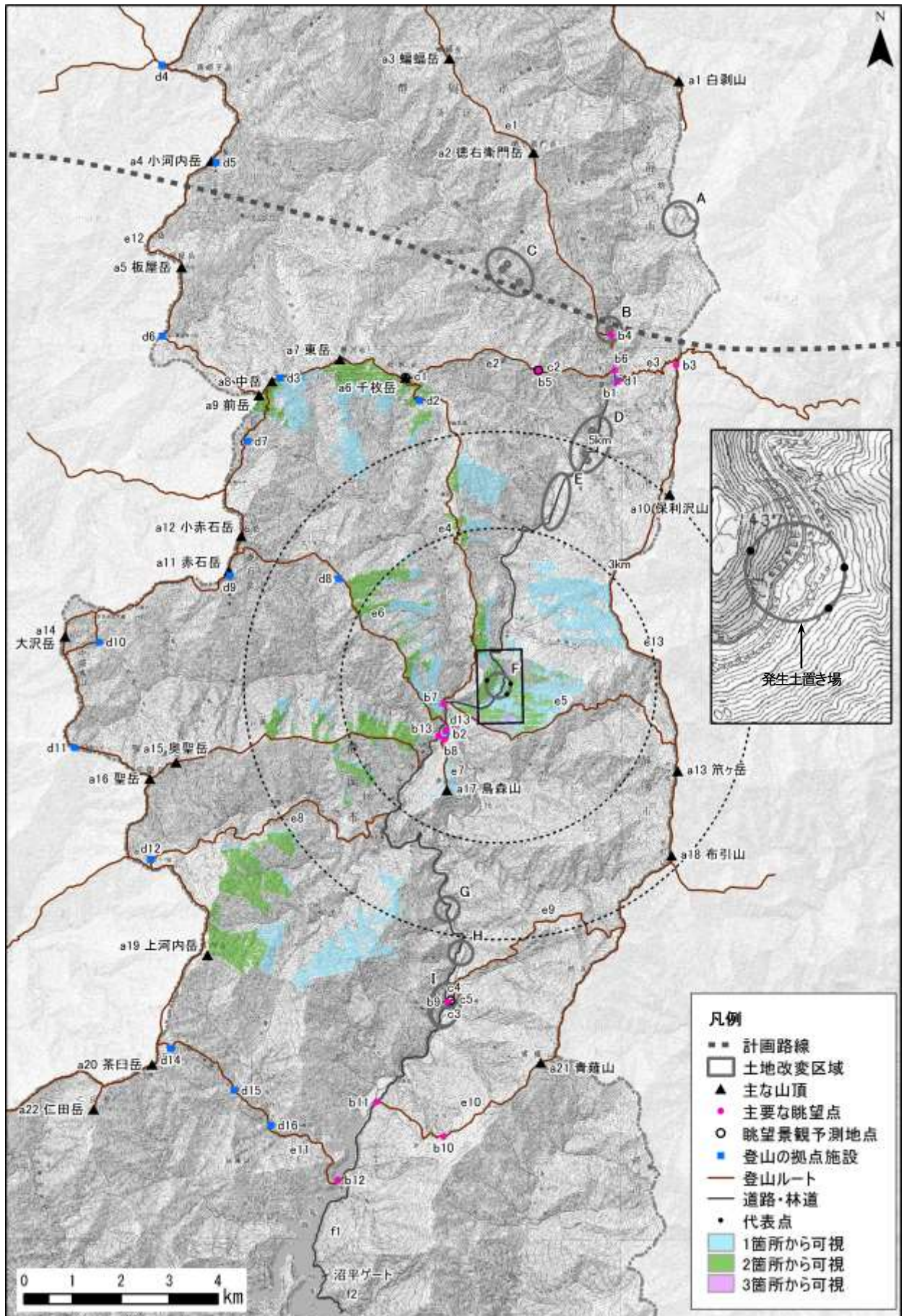


図2-6 土地変更区域Fの可視領域図

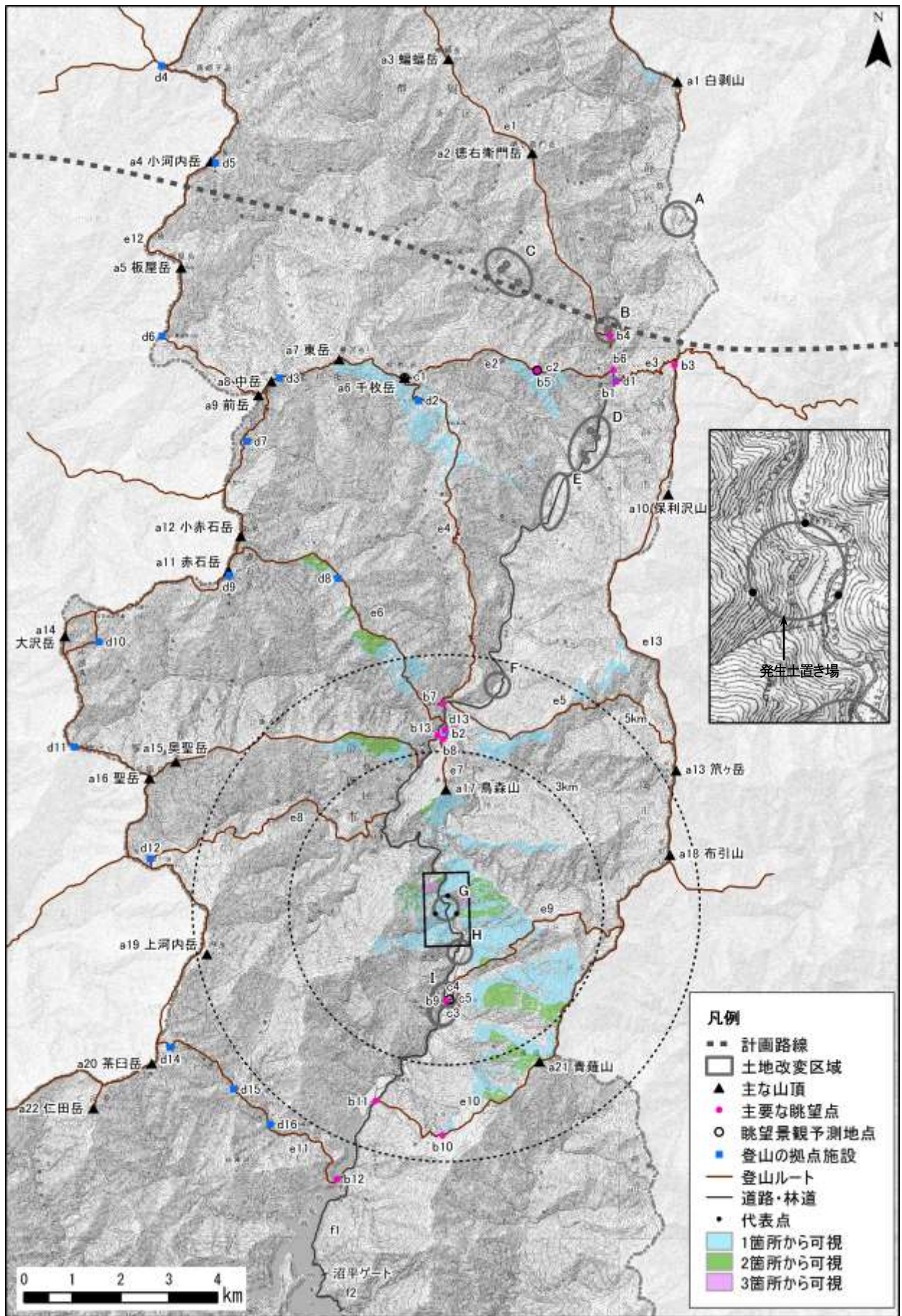


図2-7 土地変更区域Gの可視領域図

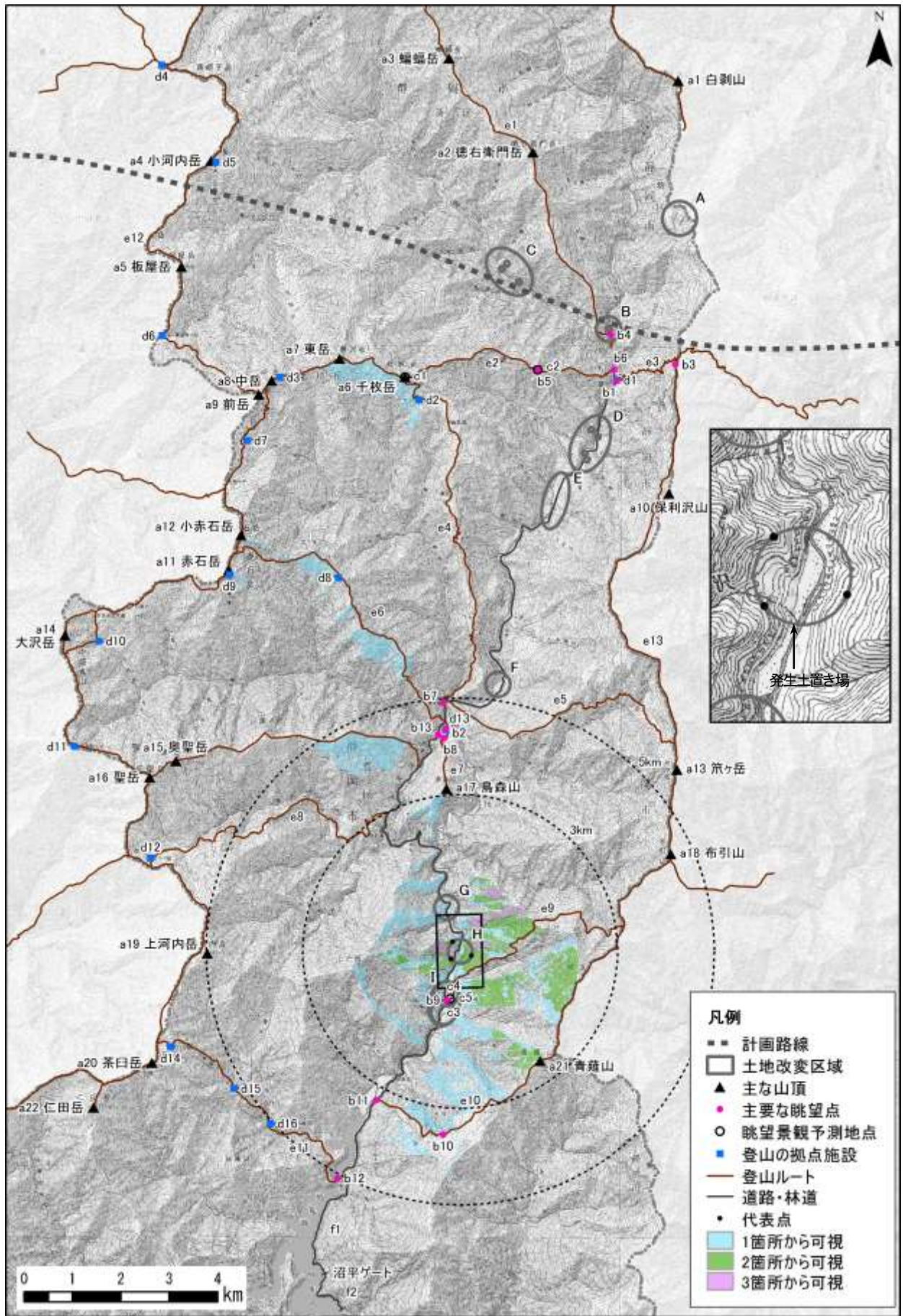


図2-8 土地変更区域Hの可視領域図

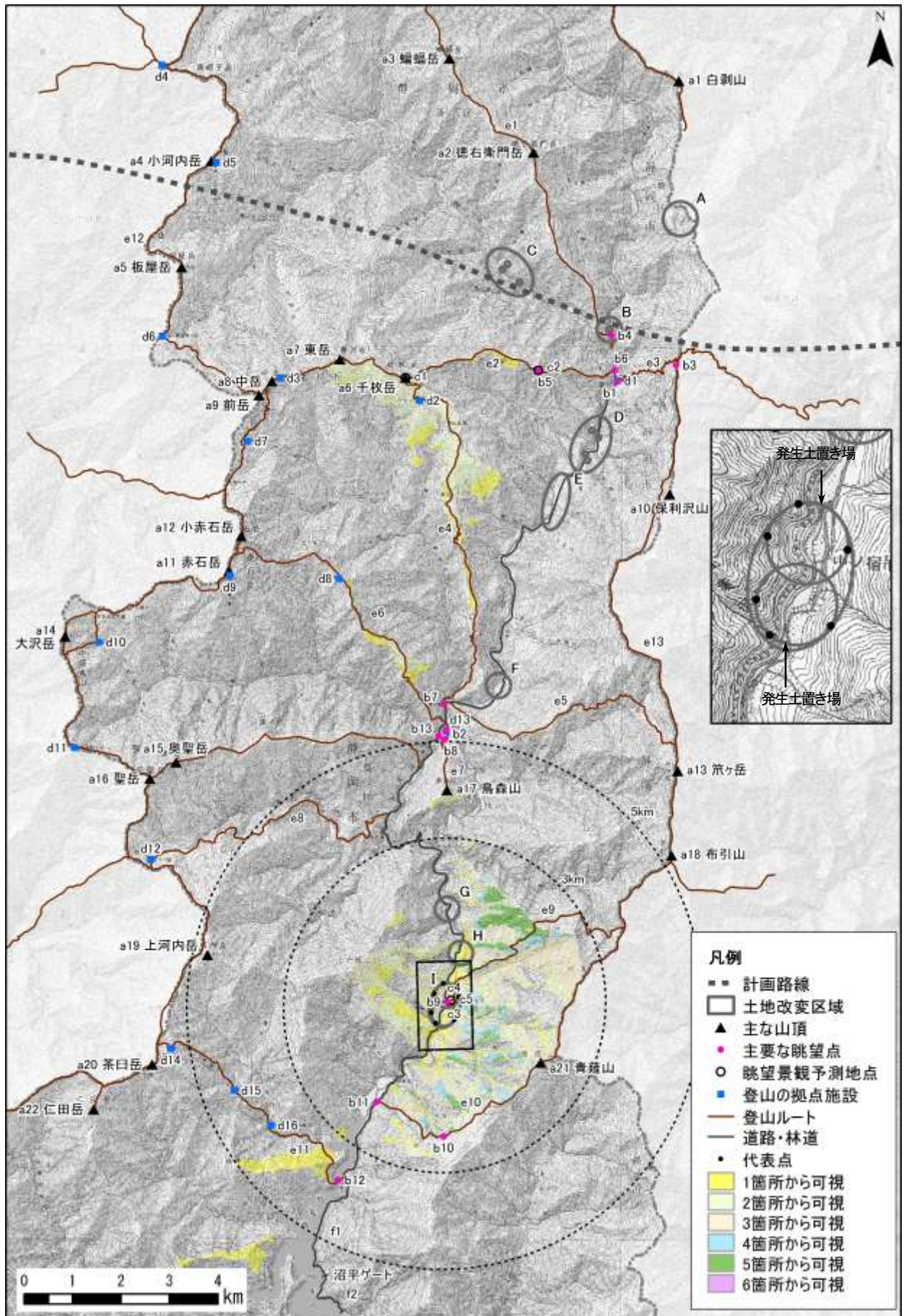


図2-9 土地変更区域Iの可視領域図

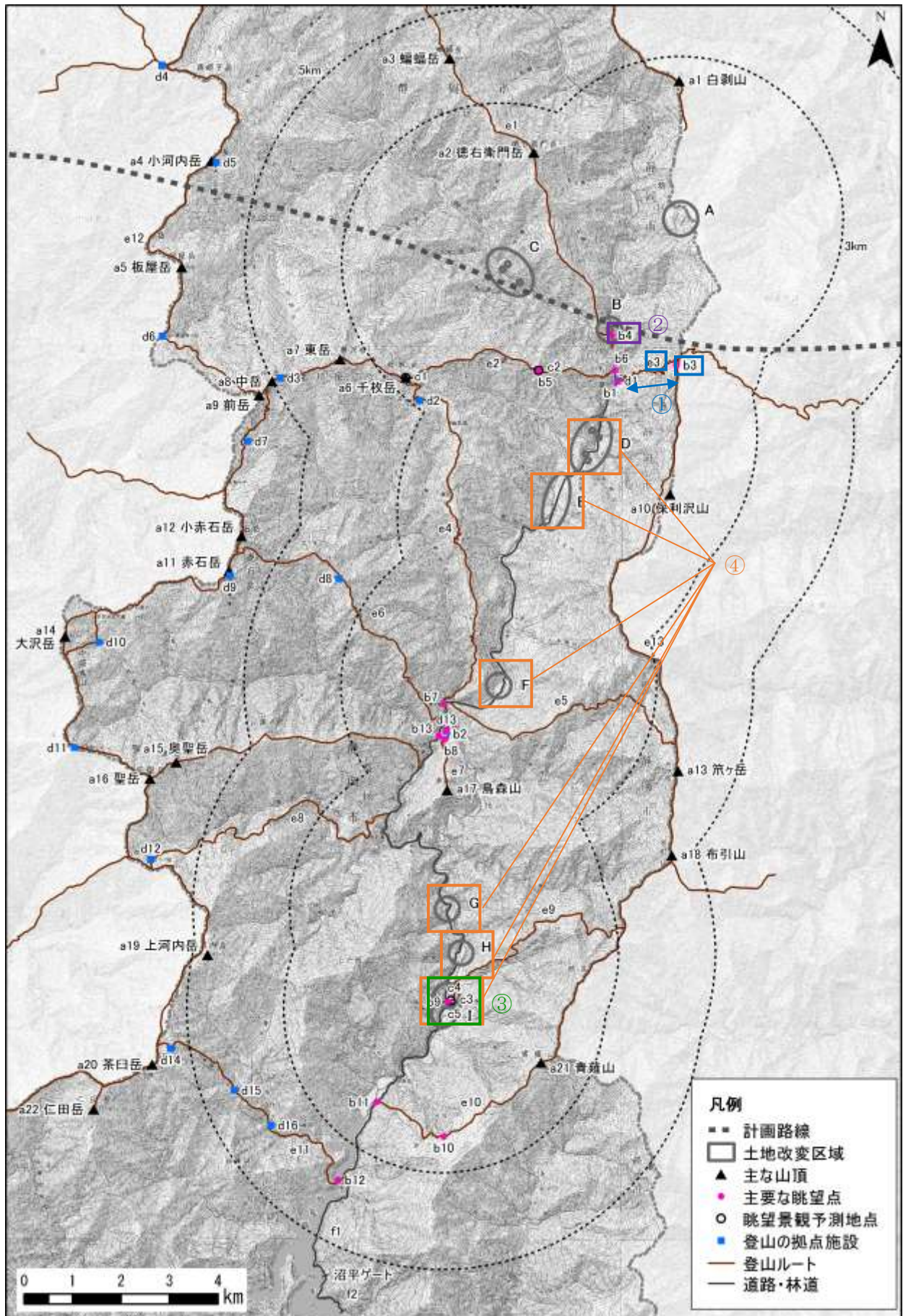


図3 現地確認調査地（主要な眺望点4箇所）

(3) 主要な眺望点の現地調査地点における影響

主要な眺望点の調査結果を表3に示す。また、調査地点を図4に示す。

「①伝付峠・伝付峠登山ルート」は土地改変区域が不可視となるため景観への影響がなく、「②蝙蝠岳登山口付近」「③中ノ宿吊橋」「④林道東俣線」は土地改変区域が可視となる地点があるため、景観への影響が考えられた。

表3 眺望点調査結果

| 地点 | 撮影地点 | 眺望点の状況 | 土地改変区域 (○可視、×不可視) | | | | | | | | | 評価 | | | |
|-----------------------|------|--------------------|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|------------------|--------------|--------------|
| | | | A | B | C | D | E | F | G | H | I | | | | |
| ①伝付峠 ・伝付峠 登山ルート | ①-1 | 展望台から赤石岳、東岳が眺望できる。 | | | × | × | | | | | | | 影響なし (C、Dは不可視) | | |
| | ①-2 | ほとんど眺望することができない。 | | | × | × | × | | | | | | 影響なし (C、D、Eは不可視) | | |
| ②蝙蝠岳 登山口付近 | ②-1 | 林道から大井川が眺望できる。 | | ○ | | | | | | | | | Bは可視 | | |
| | ②-2 | | ○ | | | | | | | | | | Bは可視 | | |
| | ②-3 | | ○ | | | | | | | | | | Bは可視 | | |
| ③中ノ宿吊橋 | ③ | 吊橋から大井川が眺望できる。 | | | | | | | | | ○ | ○ | H、Iは可視 | | |
| ④林道東俣線 | D | ④-D1 | 林道周辺は樹木に覆われて眺望することができない。 | | | | ○ | | | | | | | Dは可視 | |
| | | ④-D2 | | | | | ○ | | | | | | | Dは可視 | |
| | | ④-D3 | | | | | ○ | | | | | | | Dは可視 | |
| | | ④-D4 | | | | | ○ | | | | | | | Dは可視 | |
| | E | ④-E1 | 林道周辺は樹木に覆われて眺望することができない。 | | | | | × | | | | | | | Eの河川周辺区域は不可視 |
| | | ④-E2 | | | | | | × | | | | | | | Eの河川周辺区域は不可視 |
| | | ④-E3 | | | | | | × | | | | | | | Eの河川周辺区域は不可視 |
| | | ④-E4 | 林道から眺望が開けるが、大井川は眺望できない。 | | | | | ○ | | | | | | | Eは可視 |
| | | ④-E5 | | | | | | ○ | | | | | | | Eは可視 |
| | F | ④-F | 林道周辺は樹木に覆われて眺望することができない。 | | | | | | × | | | | | Fの河川周辺区域は不可視 | |
| | G | ④-G1 | 林道周辺は樹木に覆われて眺望することができない。 | | | | | | | | × | | | | Gの河川周辺区域は不可視 |
| | | ④-G2 | | | | | | | | | × | | | | Gの河川周辺区域は不可視 |
| | | ④-G3 | | | | | | | | | | × | | | Gの河川周辺区域は不可視 |
| H | ④-H | | | | | | | | | | × | | Gの河川周辺区域は不可視 | | |
| I | ④-I1 | 林道から大井川が眺望できる。 | | | | | | | | | | | × | Iの河川周辺区域は不可視 | |
| | ④-I2 | | | | | | | | | | | | ○ | Iは可視 | |
| | ④-I3 | | | | | | | | | | | | ○ | Iは可視 | |

注1) 網掛けは、土地改変区域 (A~I) に含まれることを示す。

注2) ○は可視、×は不可視を示す。

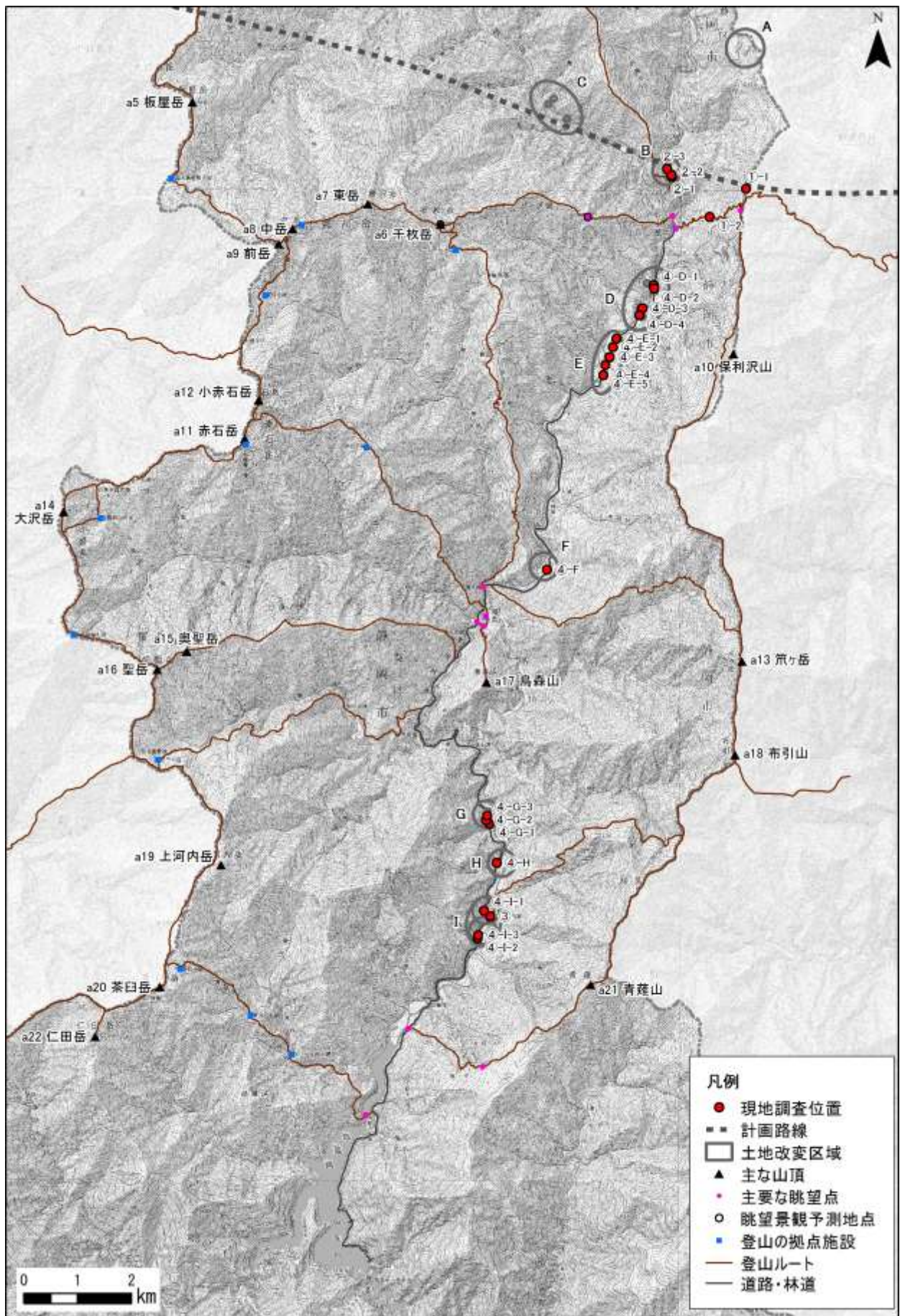


図4 眺望点調査・現地調査地点

①伝付峠及び登山ルート（二軒小屋～伝付峠方面）

伝付峠の展望台からは千枚岳や東岳、赤石岳などを眺望することができるが、土地改変区域C及びDはいずれも樹木などにより視界が遮られるため、不可視と判断した。

また、登山ルート（二軒小屋～伝付峠方面）は周囲を樹木に囲まれており、眺望の開ける場所はほとんどないため、土地改変区域はいずれも不可視と判断した。

以上のことから、伝付峠及び登山ルートからの景観に影響はないと判断した。

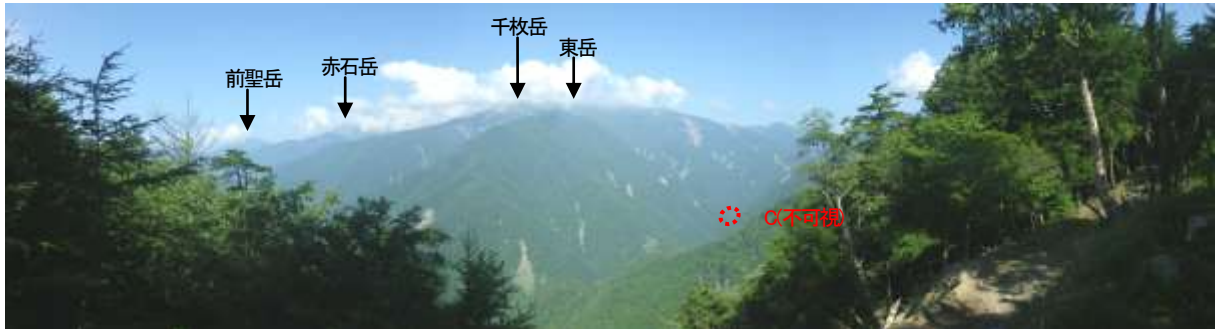


図5-1 地点①-1 伝付峠展望台から北西方面【C：宿舎・非常口・坑口】



図5-2 地点①-1 伝付峠展望台から南西方面【D：宿舎・非常口・工事施工ヤード】

②登山ルート（蝙蝠岳登山口～徳右衛門岳方面）の蝙蝠岳登山口付近

登山ルート（蝙蝠岳登山口～徳右衛門岳方面）の蝙蝠岳登山口は林道沿いにあり、土地改変区域Bの区域内に含まれ、土地改変区域Bが可視である。

以上のことから、登山ルート（蝙蝠岳登山口～徳右衛門岳方面）の蝙蝠岳登山口付近からの景観は、土地改変区域Bの影響が生じる可能性が高いと判断した。



図5-3 地点②-3 蝙蝠岳登山口付近から南方面【B：坑口】

※青色矢印は下流方向

③登山ルート（中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面）の中ノ宿吊橋

登山ルート（中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面）の起点となる中ノ宿吊橋からは、大井川を眺望することができるが、土地改変区域Ⅰの区域内に含まれ、土地改変区域Ⅰが可視である。

以上のことから、登山ルート（中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面）の中ノ宿吊橋からの景観は、土地改変区域Ⅰの影響が生じる可能性が高いと判断した。



図5-4 地点③ 中ノ宿吊橋から西方面【H・I：発生土置き場】



図5-5 地点③ 中ノ宿吊橋から北方面【H・I：発生土置き場】



図5-6 地点③ 中ノ宿吊橋から東方面【H・I：発生土置き場】



図5-7 地点③ 中ノ宿吊橋から南方面【H・I：発生土置き場】

※青色矢印は下流方向

④林道東俣線（6地点）

林道東俣線からは、大井川を眺望することができるが、土地改変区域D～Iの区域内に含まれ、土地改変区域D、E、Iが可視である。

以上のことから、林道東俣線からの景観は、土地改変区域D、E、Iの影響が生じる可能性が高いと判断した。



図5-8 地点④-D-1 林道東俣線（25.3km）から西方面【D:宿舎】



図5-9 地点④-D-2 林道東俣線（25.3km）から南東方面【D:非常口】



図5-10 地点④-D-3 林道東俣線（24.7km）から西方面【D:工事施工ヤード】



図5-11 地点④-D-4 林道東俣線（24.6km）から東方面【D:工事施工ヤード】

※黒色（白色）矢印は林道上り方面、km表示は沼平ゲートを基点とした距離



図5-12 地点④-E-4 林道東俣線 (23.4km) から南西方面【E:発生土置き場】



図5-13 地点④-E-5 林道東俣線 (23.2km) から北西方面【E:発生土置き場】



図5-14 地点④-I-2 林道東俣線 (7.0km) から北東方面【I:発生土置き場】



図5-15 地点④-I-3 林道東俣線 (7.1km) から北東方面【I:発生土置き場】

※青色矢印は下流方向、黒色矢印は林道上り方面、km表示は沼平ゲートを基点とした距離

3-2 道路景観調査

(1) 記録内容

沼平ゲートから二軒小屋までの林道東俣線沿い(約26.8km)において、登山者の歩行の視点で1kmに約10枚程度(合計272箇所)の景観写真を撮影した。

写真撮影は、林道の上り及び下り方面を広角で1枚ずつ撮影するとともに、それぞれ概ね180度のパノラマを撮影した。パノラマ撮影の例を図6に示す。



図6 パノラマ撮影の例 (No. 256 上り方向)

4 考察

今年度調査において、景観に影響を及ぼす可能性のある地点の工事着工前の現況を記録することができた。今後は、この記録を用いて、工事の実施及び供用後に環境保全措置が正しく実施されているかを確認するとともに、景観の変化を示していく必要がある。

5 評価・課題

景観は人間が認識するものであるため、同じ景観を対象としても各個人の訪れた目的等によって、捉え方は様々に分けられると考えられる。このため、当該地域の景観の特性を踏まえ、住民等が大切に感じている地域の景観の認識を把握・共有し、具体的に求めていく景観配慮内容を検討する必要がある。

6 今後の調査計画の概要

景観調査は、工事最盛期の2年目と、工事完了後に調査を行う計画である。